

151.平成28年（2016年）熊本地震における被災地内災害拠点病院の患者状況に関する研究

研究の概要

災害医療は災害の規模や種類に応じて対応が様々であります。そのため、今までの研究は過去の災害の事例報告等に留まってしまふことが大半で、統計学的な研究はあまり行われておりません。災害時には、災害時特有の診療体制で多くの患者さんの診療を適切に行うことが大切です。平成28年（2016年）熊本地震において国立病院機構熊本医療センターを受診された患者さんの受診状況を検討し、災害時にどのような医療体制が必要かを検討します。

研究の目的と方法

災害時には、多数の患者さんが病院を受診します。病院が被災している状況で多数の患者さんの診療を円滑に行うためには、災害時に特化した診療体制が必要です。今回私たちは、平成28年（2016年）熊本地震で国立病院機構熊本医療センターを受診された患者さんのデータを調査して、災害時の医療体制に必要なことは何かを検討します。

本研究の参加について

本研究に参加することにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究で扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございました際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

患者さんの年齢、性別、病名、重症度、入院病棟、治療内容、入院期間などを電子カルテから収集します。患者さんの氏名・住所・生年月日など個人を特定する情報は調査しません。データは過去のカルテから調べるだけですので、新たな情報の聴取や採取はありません。

調査期間

実施期間：研究実施許可日（通知書発行日）より 2020年3月31日まで（調査対象期間：2016年4月）

研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。データは個人が特定できない形で保存します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 救命救急・集中治療部 櫻井聖大

当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 救命救急・集中治療部 櫻井聖大

問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター

救命救急・集中治療部 櫻井聖大

電話: 096-353-6501